

2006 年度

科目名 環境と社会（総合講座）	対象学科・学年 文学部日文2回生 教育教福2回生 文学部英米2回生 文学部教福2回生 文学部文財2回生 文学部コミ2回生	担当者 大久保 ゆり
授業テーマ 地球環境問題と地域の持続可能な発展		
授業の概要と目標 私たちは毎日大量のエネルギーを消費して生活しています。しかし、このような生活を成り立たせるために、様々な規模の環境破壊が引き起こされています。この授業では特に地球温暖化問題と、これを防止しようとする市民の取り組みに焦点をあてます。地球規模の環境問題と自らの生活とのつながりを知り、生活を見つめなおすきっかけにしてください。		
評価方 出席、授業中に書いてもらう感想、レポート		
テキスト	著者	出版社
参考書 ・「持続可能な社会システム」 ・「環境の豊かさをもとめて」理念と運動 ・「国際関係の中の環境問題」 ・「共感する環境学」地域の人びとに学ぶ	著者 内藤正明、加藤三郎編著 鬼頭 秀一 編 三浦永光 編 加田由紀子他編著	出版社 岩波書店 昭和堂 有信堂 ミネルヴァ書房
授業スケジュール・内容 1. 地域で起こる地球規模の環境問題 マーシャル諸島の事例から、地球規模の環境破壊による生活への影響を考える 2. 地球温暖化問題（1） 地球温暖化の影響、仕組み、予測。異常気象増加などとの関係について 3. 地球温暖化問題（2） 京都議定書、国際的取り決めの動向と NGO・市民活動 4. 地球温暖化問題（3） 日本の国内対策はどうなっているか 5. 地域の取り組み（1） 太陽光、風、バイオマス発電などへのエネルギー転換 6. 地域の取り組み（2） 交通部門での対策 7. 地域の取り組み（3） 家庭のできる取り組み 授業ではレジュメのプリントを配布し、スライドなど写真、図を使いながら解説する。テキストは指定しないが、参考書は読むほうが望ましい。		